

単位面積当たりの吸収量 説明資料

単位面積当たりの吸収量は、「J ブルークレジット認証申請の手引き Ver2.5」に則り算定した。横浦地区は単位面積当たりの湿重量を計測していないため式 1、大串崎地区、小河原地区は坪刈りを行い単位面積当たりの湿重量を計測したため式 2 により算定した。

I. 算定式

①大串崎地区：小型褐藻

$$\begin{aligned} & W_a \times (1 - P_w) \times P_c \times R_b \times 44/12 \times (Pr1 + Pr2) \times C_e \\ &= 20.27 \times (1 - 0.875) \times 0.32 \times 1.1 \times 44/12 \times (0.0493 + 0.0279) \times 1.50 \\ &= 0.37869 \end{aligned}$$

②小河原地区：ガラモ場

$$\begin{aligned} & W_a \times (1 - P_w) \times P_c \times R_b \times 44/12 \times (Pr1 + Pr2) \times C_e \\ &= 106.22 \times (1 - 0.8870) \times 0.32 \times 1.1 \times 44/12 \times (0.0493 + 0.0499) \times 1.50 \\ &= 2.30516 \end{aligned}$$

③横浦地区：アマモ場

4.9 (式 1 により算定)

□単位面積当たりの湿重量 W_a

□含水比 P_w

□炭素含有比 P_c

□P/B 比 R_b

□残存係数① $Pr1$

□残存係数② $Pr2$

□生態系全体への変換係数 C_e

Ⅱ. 算定根拠

(1) 単位面積当たりの湿重量 W_a

①大串崎地区

単位面積当たりの湿重量 W_a 20.27 t/ha

100cm×100cm の方形枠を用いて任意の3地点で坪刈りを行い、平均値を湿重量とした。

ポイント①：湿重量(gWW)940.0 単位面積当たりの湿重量(t/ha)9.40

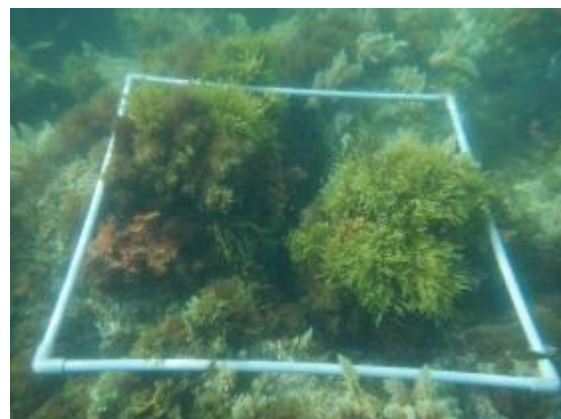
ポイント②：湿重量(gWW)3044.0 単位面積当たりの湿重量(t/ha)30.44

ポイント③：湿重量(gWW)2099.0 単位面積当たりの湿重量(t/ha)20.99

平均値：湿重量(gWW)2027.666 単位面積当たりの湿重量(t/ha)20.27



大串崎 坪刈り位置図



大串崎 坪刈りの状況

②小河原地区

単位面積当たりの湿重量 W_a 106.22 t/ha

50cm×50cm の方形枠を用いて任意の 4 地点で坪刈りを行い、平均値を湿重量とした。

小河原漁港前：湿重量(gWW)1087.9 単位面積当たりの湿重量(t/ha)43.51

小河原漁港裏：湿重量(gWW)3369.6 単位面積当たりの湿重量(t/ha)134.78

小河原赤崎根本①：湿重量(gWW)2665.4 単位面積当たりの湿重量(t/ha)106.61

小河原赤崎根本②：湿重量(gWW)3500.0 単位面積当たりの湿重量(t/ha)140.00

平均値：湿重量(gWW)2655.725 単位面積当たりの湿重量(t/ha)106.22



小河原 坪刈り位置図



小河原 坪刈り状況

(2) 含水比 P_w

①大串崎地区

0.875 (アミジグサの県内数値として、長崎県北松浦郡小値賀町での数値を採用)

参照：発酵原料としての利用を視野とした海藻草類の収集と成分調査 (p116 表 1)

②小河原地区

(単位面積あたり湿重量-単位面積あたり乾重量) / 単位面積あたり湿重量

$$= (106.23 - 12) / 106.23 = 0.8870$$

単位面積あたり海藻・海草生産量 1.4 ± 0.2 (kg 乾重/m²/年) (ガラモ場の数値) の下方値 1.2 (kg 乾重/m²/年) = 12 (t 乾重/ha/年) を採用

参照：第 3 版 磯焼け対策ガイドライン (p10 コラム 2-2-1 表 1)

(3) 炭素含有比 P_c

①大串崎地区、②小河原地区：32% (ガラモ場)

参照：第 3 版 磯焼け対策ガイドライン (p10 コラム 2-2-1 表 1)

(4) P/B 比 R_b

①大串崎地区、②小河原地区：1.1 (ガラモ場構成種であり県内数値として、キレバモク長崎県見崎での数値を採用)

参照：第 3 版 磯焼け対策ガイドライン (p11 コラム 2-2-2 表 1)

(5) 残存係数① Pr_1

①大串崎地区、②小河原地区：0.0493 (海藻藻場)

参照：J ブルークレジット®認証申請の手引き ver.2.5 (P38 表 3-10)

(6) 残存係数② Pr_2

①大串崎地区：0.0279 (ワカメ場 (ワカメ・小型褐藻類型))

②小河原地区：0.0499 (ガラモ場)

参照：J ブルークレジット®認証申請の手引き ver.2.5 (P38 表 3-11)

(7) 生態系全体への変換係数 C_e

①大串崎地区、②小河原地区：1.50 (海藻藻場)

参照：J ブルークレジット®認証申請の手引き ver.2.5 (P38 表 3-12)